

## リプロダクティブ・ヘルス/ライツって何？

### 性と生殖に関する健康と権利

リプロダクティブ (Reproductive) → 生殖  
ヘルス (Health) → 健康  
ライツ (Rights) → 権利

人々が安全で満足のある性生活を営みつつ、子どもを産むかどうか、いつ何人の子どもを産むかについて自由に責任を持って決めることができ、そのために必要な情報・手段を得ることができることです。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、不妊、人工授精、性感染症、エイズ、性暴力、売買春、中絶など、さまざまな問題を幅広く含んでいます。男女が性の知識を正しく得ることが不可欠です。

対等な  
男女関係が大切！



© 2017年 VPO 1

## なぜリプロダクティブ・ヘルス/ライツなの？

### 女性のからだと性の自己決定権

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、自分のからだに関することを自分自身で決める権利であり、すべての人に保障されるべき人権です。

1994年(平成6年) カイロで開かれた「国際人口開発会議」で、リプロダクティブ・ヘルス/ライツが公式に承認されました。

1995年(平成7年) 北京で開かれた「世界女性会議」でも、リプロダクティブ・ヘルス/ライツは重要課題となりました。

地球上の多くの国では「女性は子産みの道具」「妊娠中の保護がない」「避妊も中絶も自ら選択できない」現状です。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは女性の生命の安全や健康を守ることを重視し、生殖に関する自己決定権を認めるものです。

生殖は女性と男性の関係の上で進展します。一方的な支配や従属の中には人権はありません。

子供を生む、  
生まないは  
自分自身で決める。



© 2017年 VPO 2

## リプロダクティブ・ヘルスの内容とは？

リプロダクティブ・ヘルスは、生殖の機能や過程に病気がないだけでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態をいい、これから生まれる世代の問題をも含みます。

### リプロダクティブ・ヘルスの中心課題

- (1) 女性が自ら妊娠を調節し、抑制できること
  - ★ 家族計画は夫婦の話し合いから  
子どもは何人？ いつ？
  - ★ 女性の主体的な避妊のための知識をもつ  
ピル、ベッサリー、女性用コンドーム等
  - ★ 性については YES! NO! をはっきり言うことが大事
- (2) 安全な妊娠と出産ができること
- (3) 子どもが健康に生まれ育つこと
- (4) 安全で心配のない性的関係をもてること
  - ★ 性感染症に関する知識
  - ★ コンドームなどの正しい使用
  - ★ パートナーは限定
  - ★ あ互いの心と体を大切に

※性感染症(STD)……セックスによってうつる病気

なんでも話しましょう



© 2017年 VPO 3

## ライフサイクルから見るリプロダクティブ・ヘルス/ライツ

### すべての人々の生涯を通じた健康

リプロダクティブ・ヘルスでは、妊娠と出産に関する健康という狭い考えではなく、男女すべての人を対象とし、生涯にわたっての性と生殖に関する全般的な健康を考えます。

誕生から更年期を経て老年期までのすべての期間において、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに基づいた健康管理とサービスが必要です。

年齢	課題	対応するサービス
胎児期	胎児の健康	胎児検診、検疫、治療
乳児期	乳児の健康	母乳育児、検疫、治療
幼児期	子どもの健康	予防接種、検疫、治療
学童期	子どもの健康	予防接種、検疫、治療
青少年期	性健康	性教育、避妊指導、検疫、治療
成人期	生殖健康	避妊指導、検疫、治療
中年期	生殖健康	避妊指導、検疫、治療
老年期	生殖健康	避妊指導、検疫、治療

国際人口開発会議(1994年)と世界女性会議(1995年)で承認されたリプロダクティブ・ヘルス/ライツの定義(2002年) © 2017年 VPO 4

© 2017年 VPO 4